

2010.06.26

つくば市民白書 2012 企画(案)

(1) 経過

2008年7月、「つくば市民白書 2008 実行委員会」が「つくば市民白書 2008—市民の目でみたつくばの今」を発行した。実行委員会有志が 2012 白書の準備会を作り、2010年4月に新たに「つくば市民白書 2012 実行委員会」を結成した。

(2) 白書発行の目的

市民白書発行の目的は、つくばの市政と暮らしの現状・問題点・今後の課題などを多くの市民に知らせることである。

(3) 2012年版白書の内容

①問題意識

現在つくば市が抱えているもっとも大きな問題は、TX 沿線開発などのインフラ整備の負担が大きく、市財政が破綻する恐れがある点である。2012年版では、市財政の現状の解析と今後の展望、つくば市の都市開発の構造とひずみの解析と代替案の提示を中心に据える。このほか、幅広い市民の参加を得て、多様な視点から市民生活の現状と課題に関する報告を掲載したい。

②項目

前回作成した市民白書の項目を参考に、つくば市の財政、行政運営、議会、医療・福祉、教育、文化、環境、商工業、農業などについて、市民の立場から調査分析し、報告・解説・意見・提言としてまとめる。

(4) 実行体制

実行委員会が、全行程の管理運営を行う。編集方針の決定、調査項目の設定、調査・執筆担当者の選定と執筆依頼、原稿の作成管理、編集等などである。実行委員は自主的な参加を求める。

(5) スケジュール

完成の目途は 2012年4月末とする。

2010年4月～2011年3月：調査、内容の整理、編集方針の決定、目次案作成。

2011年7月：目次案完成

2011年8月～12月：原稿執筆、一次稿完成

2012年1月：編集、3月：入稿、4月：完成

(6) 体裁

タイトル：「つくば市民白書 2012—————」

発行者：つくば市民白書 2012 実行委員会

頒布価格：800 円

印刷部数：2000（贈呈 200、頒布 1800）

A4 版、140 ページ

表紙 カラー印刷

(7) 予算

総額 130 万円（印刷費 80 万円、その他 50 万円）

収入見込み：800 円×1800=1,440,000 円